

企画提案書審査表

業務名：DXの加速に向けた行政事務のBPR（業務改革）に関する伴走型支援業務委託

評価項目		評価基準			配点				
					提案内容別	評価項目別			
企業 業務実績 (配点: 5点)	受託実績	業務受託実績は十分か。  令和元年度以降、官公庁（国、地方公共団体、公社、公団及び独立行政法人に限る。）発注の業務で元請として1件当たりの税込金額500万円以上のBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務受託件数			5件以上	5	5		
					4件		4		
					3件		3		
					2件		2		
					1件		1		
	業務 経歴等	統括責任者・主任担当者の経験及び能力 (配点: 15点)	統括責任者	業務に対する業務経験は十分か。	過去に1,000万円以上のBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務の実績がある。			5	
					過去に1,000万円未満のBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務の実績がある。			3	
			過去にBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務の実績がない。			0			
		主任担当者	業務に対する業務経験は十分か。	過去に1,000万円以上のBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務の実績がある。			5		
				過去に1,000万円未満のBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務の実績がある。			3		
過去にBPR（業務改革）、行政手続のオンライン化に関するいずれかの実施支援等の業務の実績がない。			0						
手持ち業務件数	統括責任者	手持ち業務件数	手持ち業務の件数が、統括責任者においては10件未満である（いずれも特定後未契約のものを含む）。			2			
			手持ち業務の件数が、統括責任者においては10件以上である（いずれも特定後未契約のものを含む）。			1			
主任担当者	手持ち業務件数	手持ち業務件数	手持ち業務の件数が、主任担当者においては3件未満である（いずれも特定後未契約のものを含む）。			3			
			手持ち業務の件数が、主任担当者においては3件以上である（いずれも特定後未契約のものを含む）。			2			
手持ち業務の件数が、主任担当者においては5件以上である（いずれも特定後未契約のものを含む）。			1						
業務実施方針 (配点: 35点)	本業務への知識・理解	本業務に関する知識・理解は十分か。	本業務に関する知識・理解は十分である。			5	5		
			本業務に関する知識・理解は普通である。				3		
			本業務に関する知識・理解が不足している。				0		
	本市DXへの理解	本市のDXに関する方針・考え方を理解した業務実施方針となっているか。	本市のDXに関する方針・考え方を理解した業務実施方針に十分になっている。			5	5		
			本市のDXに関する方針・考え方を理解した業務実施方針になっている。				3		
			本市のDXに関する方針・考え方を理解した業務実施方針としては不十分である。				0		
	本業務への取組意欲	本業務への積極的な提案・意見がなされているか。	提案内容は、業務内容を豊かなものとする積極的なものとなっている。			5	5		
			提案内容は、一般的な内容にとどまっている。				3		
			提案内容は、本業務に効果的なものとなっていない。				0		
	業務の実施体制	本業務の実施体制、作業スケジュール、手順等に妥当性はあるか。	提案された実施体制、作業スケジュール、手順等は本業務を遂行する上できわめて十分である。			5	5		
			提案された実施体制、作業スケジュール、手順等は本業務を遂行する上で普通である。				3		
			提案された実施体制、作業スケジュール、手順等は本業務を遂行する上で問題がある。				0		
	業務の実施工程における職員負担	提案された本業務全体の実施工程は、本業務を実施する際の市職員の負担軽減を意図した内容となっているか。	提案された実施工程は、市職員の負担軽減を十分に考慮した内容である。			5	5		
			提案された実施工程は、市職員の負担軽減を考慮した内容である。				3		
			提案された実施工程は、市職員の負担軽減への考慮が不足している。				0		
実施可能な手続件数	実施可能な手続件数（別添「仕様書」内、【5 対象業務及び対象手続数（目安）（1）～（2）について一連の業務を実施できる手続件数）	21件以上			10	10			
		16～20件				7			
		10～15件				5			
		5～9件				3			
		5件未満				0			
ア 現行業務調査	提案された調査手法は、現行業務プロセスを効率的に整理でき、かつ、課題を的確に洗い出し、新業務プロセスへの業務改革（BPR）に繋げられる調査が実施できる内容となっているか。	提案された内容は、きわめて具体的であり、必要な調査を十分に行うことができる。			10	10			
		提案された内容は、具体的であり、必要な調査を概ね行うことができる。				7			
		提案された内容は、具体的ではあるが、必要な調査が不足する。				5			
		提案された内容は、抽象的であり、必要な調査を行うことができない。				3			
		提案された内容では、全くイメージがでず必要な調査を行うことができない。				0			
イ オンライン化に合わせた業務改革（BPR）の検討	提案された新業務プロセスの検討手法は、その理由とともに具体的な内容となっているか。また、その内容は「サービス設計12箇条」を踏まえ、「市民等申請者側の利便性向上」及び「職員の業務効率化」の視点を意識したものとなっているか。	提案された内容は、きわめて具体的であり、必要な新業務プロセスの検討を十分に行うことができる。			10	10			
		提案された内容は、具体的であり、必要な新業務プロセスの検討を概ね行うことができる。				7			
		提案された内容は、具体的ではあるが、必要な新業務プロセスの検討において求める内容が不足する。				5			
		提案された内容は、抽象的であり、必要な新業務プロセスの検討を行うことはできない。				3			
		提案された内容では、全くイメージがでず必要な検討を行うことができない。				0			
本業務についての提案・意見 (配点: 45点)	現行業務と新業務プロセスにおける業務量を可視化し比較する手法は、具体的かつ確に実施できるものとなっているか。	有効である。			5	5			
		普通である。				3			
		不足である。				0			
		ウ 手続きオンライン化ツールでの申請フォーム等の作成支援	提案された申請フォーム等の設計・作成に関する手法は、その理由とともに具体的な内容となっているか。また、その内容は「サービス設計12箇条」を踏まえ、「市民等申請者側の利便性向上」及び「職員の業務効率化」の視点を意識したものとなっているか。	提案された内容は、きわめて具体的であり、必要な取組を十分に実施することができる。			10	10	
				提案された内容は、具体的であり、必要な取組を概ね行うことができる。				7	
提案された内容は、具体的ではあるが、必要な取組が不足する。				5					
イ オンライン化に合わせた業務改革（BPR）の検討	提案された新業務プロセスの検討手法は、その理由とともに具体的な内容となっているか。また、その内容は「サービス設計12箇条」を踏まえ、「市民等申請者側の利便性向上」及び「職員の業務効率化」の視点を意識したものとなっているか。	提案された内容は、抽象的であり、必要な取組を行うことはできない。			10	3			
		提案された内容は、全くイメージがでず必要な取組を行うことができない。				0			
		本市で導入している手続きオンライン化ツール以外も含めて、様々な手続きオンライン化ツールに精通している。				5			
エ 相談会の開催に関する提案	提案された相談会の開催形態は、参加者にとって有意義なものになるように創意工夫がなされているか。	提案された内容は、参加者が有意義なものといえるような内容となっている。			5	5			
		提案された内容は、一般的な内容にとどまっている。				3			
		提案された内容は、本業務に効果的なものとなっていない。				0			
					100				